

八百屋塾通信 Vol. 7

八百屋塾ホームページをごらんください
▼「八百屋へ行こう」で検索
<http://www.shoukumi.or.jp/index.htm>

1日1個のりんごで医者知らず

(イギリスのことわざ)

りんごの健康効果は昔から知られており、りんごの原産地は中央アジアの山岳地帯カリウム、食物繊維、リンゴ酸、リンゴポリフェノールなどが、動脈硬化、高血圧など生活習慣病やアレルギーの予防、疲労回復にも役立つとされています。



●「シナリップ」

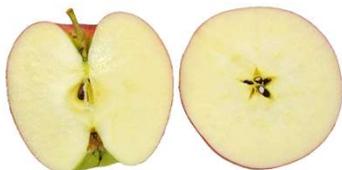
8月中下旬から収穫可。早生の新品種。「千秋」×「シナノレッド」



●つがる (9月上旬～10月中旬) 早生種。品種別生産量第2位。「ゴールデンデリシャス」×「紅玉」



●ふじ (11月下旬～4月上旬)・晩生種。生産量第1位! 「国光」×「デリシャス」。写真の「ひるさきふじ」は早生系



●長野県オリジナル品種「りんご三兄弟」

左:シナノスイート (9月下旬～11月下旬)・中生種・「ふじ」×「つがる」。中:秋映 (9月下旬～10月中旬)・中生種・「千秋」×「つがる」。右:シナノゴールド (10月下旬から)・晩生種・「ゴールデンデリシャス」×「千秋」

●ジョナゴールド (10月上旬～11月上旬) 中生種。品種別生産量第4位。「ゴールデンデリシャス」×「紅玉」

●トキ (10月上旬～11月上旬)・中生種。「王林」×「ふじ」



●ブルムリー

英国りんご生産の45%を占め、強い酸味で支持を集める調理用。収穫時期は8月下旬～約10日間



●紅玉 (10月上旬～11月上旬) 中生種。アメリカ原産。香りと酸味で調理・加工用に根強い人気

●なかの真紅

長野県中野市の農家が開発した、生食もおいしい、果肉まで赤いりんご



市場の動き

10月は中生種の販売アイテムが広がり、食味も安定して、前年並みの数量に回復、荷動きも活発化。

●早生ふじ:主に青森で10月下旬にピーク ●シナノスイート:長野、安曇野中心に10月下旬まで ●ジョナゴールド:岩手中心に10月下旬まで ●秋映:山形、10月下旬まで ●シナノゴールド:長野、11月以降貯蔵もの ●トキ:青森、11月初めまで

■りんごの情報は八百屋塾ホームページで

◇2016年10月16日/2013年10月20日/2012年10月21日

橋本幾男氏解説「本日のりんご」

◇2014年12月14日 杉本晃章氏「長野県山ノ内町のりんご」

◇2011年12月18日 りんご生産農家「山ノ内町のりんご各種」

◇2011年9月18日～19日 報告「出張八百屋塾in山ノ内町」

出張八百屋塾 in 山ノ内町

2011年9月18日～19日

元八百屋塾実行委員長杉本晃章さんの店がある足立区と、長野県山ノ内町が友好提携都市になったことをきっかけに、八百屋塾でもたびたび紹介されている山ノ内町のりんご。2011年には出張八百屋塾が開かれました。



山ノ内町ではしっかりと完熟するまで収穫しません。外見より味。これは杉本さんのリクエストで、おいしさの決め手です。